

## 平成 28 年度 事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

### 事業報告

#### 1. 事業の成果

平成 28 年度は、小学 5 年生から高校 3 年生までの 17 名の生徒が在籍した。

小中学生においては、在籍校の登校振替措置をとっていた例が 4 件。また在籍校への登校復帰事例も 4 名あった。一人ひとりの意欲や状態に応じて、教科的な学習だけでなく、調理実習や体育、手芸などの創作活動のほか、新たに農業体験やプログラミング学習なども行うことができた。

高校生においては、新入生 2 名を受け入れ、はじめて修学旅行を実施するなど、こちらも活動の幅を着実に広げ、唯一の高校 3 年生の進路も無事就職が決めることができた。

その他、支援を必要としている子ども達や保護者とつながる具体的施策として、2 つの団体から助成を受け、不登校理解支援事業を実施。11 のセミナー・体験イベントに、のべ 184 名の生徒・保護者・教育関係者に参加いただくことができた。

#### 2. 事業の実施に関する事項

##### (1) 生徒在籍・利用状況

・ 28 年度 生徒在籍	17 名 (18 名)	※ ()内は 27 年度在籍数
内訳：小学生	3 名 (4 名)	
中学生	8 名 (7 名)	
通信制高校	4 名 (5 名)	
高卒認定	0 名 (0 名)	
その他	2 名 (2 名)	

##### ① 基礎学力サポートコース (小・中学生の不登校生等への学習等の支援)

	在籍数	総登校日数	総活動時間
28 年度	11 名 (小 3 名、中 8 名)	202 日	618 時間
27 年度	11 名 (小 4 名、中 7 名)	258 日	969.25 時間
26 年度	9 名 (小 2 名、中 7 名)	167 日	442.5 時間
25 年度	6 名 (小 1 名、中 5 名)	102 日	256.5 時間

在籍校の登校振替事例 4 件

在籍校への登校復帰事例 4 件

##### ② 通信制高校サポートコース

在籍数 4 名 (1 年生 2 名、2 年生 1 名、3 年生 1 名)

卒業生 (3 年生) 1 名の進路 就職 (工務店)

##### ③ その他コース 2 名

基礎学力サポートコースから高校へ進学した生徒への継続サポート。

## (2) 問い合わせ・相談件数

延べ81件 (月平均 6.75件)

## (3) 助成事業

### 【概要】

2つ助成団体からの助成を受け、不登校など、学校生活での生きにくさを抱えている子ども達を対象に、心を癒し自信を育む体験活動や、対人関係スキルを学ぶ心理学講座、不登校経験者のための進路セミナーなどを実施。心の柔軟性や、前向きな将来像、肯定的な自己認識などを獲得する機会を提供した。

また、保護者や教育関係者が、子ども達への有効で効果的な支援のあり方を学ぶ機会として、専門家を招いたセミナーや相談会を実施した。

これらの事業を通じて、支援を必要としている子ども達や保護者、教育関係者とつながるきっかけを生み出し、個々の不登校問題の解決につながる多くの変化を生み出すことができた。

総企画数	11
総参加者数	延べ 184名
総企画満足度	
アンケート回答数	176名 (回答率 約96%)
評価方法	4段階評価 (とても満足、まあまあ満足、やや不満、不満)

とても満足	136	約77%
まあまあ満足	39	約22%
やや不満	1	約0.6%
不満	0	0%

### ①日本郵便株式会社 「年賀寄附金による社会貢献事業」

7企画 延べ113名の参加

・6/4	進路セミナー (2回)	参加者	16名、13名
・7/9	不登校理解支援セミナー	参加者	22名
・8/27	不登校理解支援セミナー	参加者	22名
・9/11	ホースセラピー	参加者	10名
・10/2	ホースセラピー	参加者	14名
・10/22	不登校理解支援セミナー	参加者	17名

### ②公益財団法人いきいき岩手支援財団 「いわて子ども希望基金」

4企画 延べ71名の参加

・11/3	進路セミナー (2回)	参加者	15名、19名
・12/17	かたづけ講座	参加者	13名
・2/11	不登校理解支援セミナー	参加者	24名

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人盛岡コースセンター

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

**【経常収益】**

**【受取会費】**

正会員受取会費 24,000

**【受取寄付金】**

受取寄付金 1,560,000

ボランティア受入評価益 2,870,400

**【受取助成金等】**

受取助成金 732,000

**【事業収益】**

事業 収益 2,875,000

**【その他収益】**

受取 利息 8

広告宣伝費 1,261

商品券 14,700

経常収益 計

8,077,369

**【経常費用】**

**【事業費】**

(人件費)

給料 手当(事業) 1,839,930

臨時雇賃金 5,640

ボランティア評価費用 2,870,400

法定福利費(事業) 260,761

人件費計 4,976,731

(その他経費)

諸 謝 金(事業) 430,000

印刷製本費(事業) 139,712

会 議 費(事業) 21,901

旅費交通費(事業) 245,059

通信運搬費(事業) 319,172

体験活動費(事業) 8,170

消耗品 費(事業) 163,711

教育教材費(事業) 205,598

賃 借 料(事業) 1,620,000

保 險 料(事業) 5,040

租税 公課(事業) 600

研 修 費(事業) 19,100

支払手数料(事業) 5,832

接待交際費(事業) 7,170

新聞図書費(事業) 2,916

その他経費計 3,193,981

事業費 計

8,170,712

**【管理費】**

(人件費)

人件費計 0

(その他経費)

通信運搬費 1,568

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

賃借料	180,000	
広告宣伝費	11,340	
その他経費計	192,908	
管理費計		192,908
経常費用計		8,363,620
当期経常増減額		△286,251
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△286,251
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		△286,251
前期繰越正味財産額		327,401
次期繰越正味財産額		41,150

# 貸借対照表

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター  
全事業所

[税込] (単位:円)  
平成29年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現金 31,680

普通預金 189,447

現金・預金計 221,127

(売上債権)

未収金 21,250

売上債権計 21,250

流動資産合計 242,377

資産の部合計 242,377

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未払金 201,227

流動負債計 201,227

負債の部合計 201,227

## 《正味財産の部》

### 【正味財産】

前期繰越正味財産額 327,401

当期正味財産増減額 △286,251

正味財産計 41,150

正味財産の部合計 41,150

負債・正味財産合計 242,377

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター  
全事業所

[税込] (単位：円)  
平成29年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金	31,680	
普通 預金	189,447	
東北銀行	<u>(189,447)</u>	
現金・預金 計	221,127	

(売上債権)

未 収 金	<u>21,250</u>	
売上債権 計	<u>21,250</u>	

流動資産合計 242,377

資産の部 合計 242,377

## 《負債の部》

### 【流動負債】

未 払 金 201,227

流動負債 計 201,227

負債の部 合計 201,227

正味財産 41,150

特定非営利活動法人盛岡ユースセンター

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 受取助成金等

平成 28 年度における受取助成金の内訳については、下記の通りです。 (単位：円)

日本郵便株式会社 「年賀寄附金による社会貢献事業」	450,000
公益財団法人いきいき岩手支援財団 「いわて子ども希望基金」	282,000
計	732,000